

平成24年第1回定例会（6月議会）

予算特別委員会農林水産分科会
付託議案関係資料

平成24年6月22日

農 林 水 産 部

目 次

1	秋田県農業研修センター（本館を除く）管理運営費〔農林政策課〕	1
2	（拡）県産農畜産物安全性確保対策事業〔農業経済課〕	2
3	（拡）あきたを元気に！農業夢プラン実現事業〔水田総合利用課〕	6
4	（新）地域をあげて取り組むGAP推進事業〔水田総合利用課〕	7
5	（拡）農業生産施設復旧支援事業〔水田総合利用課〕	8
6	（新）秋田米食味向上対策事業〔水田総合利用課〕	9
7	（新）秋田由利牛ブランドアップ支援事業〔畜産振興課〕	10
8	（拡）草地畜産基盤整備事業〔畜産振興課〕	11
9	（新）漁港漁村活性化対策事業〔水産漁港課〕	12
10	（拡）漁港災害復旧事業（公共災及び県単災）〔水産漁港課〕	13
11	（拡）木材産業振興臨時対策事業〔林業木材産業課〕	14
12	（新）種苗生産施設体制整備事業〔林業木材産業課〕	15
13	（拡）森林整備臨時対策事業〔森林整備課〕	16

1 秋田県農業研修センター(本館を除く)管理運営費 (債務負担行為)

農林政策課

指定管理者制度の導入施設である秋田県農業研修センターの生態系公園等が、平成25年度から新たな指定期間を迎えるに当たり、指定管理者を公募する前に指定管理料の上限額を示す必要があることから、債務負担行為を設定する。

1 指定管理の内容

(1) 指定管理期間

平成25～29年度(5年間)

(2) 指定管理施設

ア 生態系公園(観賞温室を除く) 68,000㎡

イ 観賞温室 1,106㎡

ウ 育苗等施設 735㎡

エ その他施設(エントランス広場、駐車場、その他) 71,525㎡

※管理敷地面積計 141,366㎡

(3) 指定管理業務

ア 農業研修センター本館以外の施設及び設備の維持管理に関する業務

イ 植物の栽培及び管理に関する業務

ウ その他知事が必要と認める業務

2 指定管理に向けた主なスケジュール

- ・債務負担行為の議決 平成24年6月議会
- ・指定管理者の公募 平成24年7月～8月
- ・選定委員会の開催 平成24年9月
- ・指定管理者の議決 平成24年12月議会
- ・基本協定の締結 平成25年3月
- ・指定管理の開始 平成25年4月～

3 事業主体

県

4 債務負担行為限度額

180,700 千円(平成25～29年度分)

2 県産農畜産物安全性確保対策事業（拡充）

農業経済課

県産農産物等の安全性を確認し、県内外の消費者や販売業者にその安全性をアピールするため、平成23年度に引き続き、主要農産物等の放射性物質検査を行うとともに、農協等が自ら行う検査に対して支援する。

1 事業内容

(1) 主要農畜産物安全性確認調査

県内の主要農産物等について、収穫又は出荷の開始時期に放射性物質検査を実施し、安全性を確認する。

ア 分析機関：秋田県健康環境センター

イ 検査対象：米をはじめとする主要農産物等 169点

(2) 農畜産物安全性確認調査

農協や農業法人等が、自ら生産する農産物等の安全性確認のために実施する放射性物質検査に補助する。

また、野生の山菜やきのこの安全性確認のため、直売所の開設者や管理者が行う放射性物質検査点数を増やし、必要額について補正する。

ア 分析機関：(株)秋田県分析化学センター

イ 検査対象：米を除く農畜産物等 350点（当初計画点数 220点）

ウ 補助率：1／2以内

2 事業主体

(1) 県

(2) 市町村、農協、農業法人、集落営農組織、直売所

3 予算額

410千円（一般財源）

〔負担金補助及び交付金 410千円〕

4 事業年度

平成23～24年度

<参考>

平成24年度における県産農産物等の放射性物質検査の状況について

農業経済課

1 主要農産物等検査結果の概要

○ 昨年度に引き続き、「県産農産物等の放射性物質検査」、「肉用牛の全頭検査」、「農協等が行う自主検査」の3つの柱で検査を実施している。

○ これまで、県が行う「県産農産物等の放射性物質検査」と「肉用牛の全頭検査」では、野生の山菜を含め、31品目・726検体、農協等が行う自主検査では、36品目・93検体の検査をそれぞれ実施した。

結果は、全て基準値を大きく下回っており、県産農産物等の安全性は確保されている。

【県が行う検査】

平成24年6月19日現在

区 分	品目数	検体数	備 考
県産農産物等の 放射性物質検査（精密検査） ※詳細は別紙	30	51	・農産物等 8品目, 9検体 ・水産物 18品目, 22検体 ・野生山菜 3品目, 9検体 ・生 乳 1品目, 11検体
肉用牛の全頭検査（簡易検査）	1	675	・と畜頭数 675頭
計	31	726	

【農協等が行う検査】

平成24年6月19日現在

区 分	品目数	検体数	備 考
農協等が行う自主検査 （簡易検査）	36	93	・農産物 22品目, 30検体 ・畜産物 1品目, 1検体 ・野生山菜 13品目, 62検体

2 水田土壌の検査結果

○ 県内25市町村全てで1点ずつ検査を実施したが、結果は3.6～28Bq/kgと、震災前の状況（12～57Bq/kg（平成4～22年秋田市内））と比較し、通常レベルであった。

別紙

県が行う県産農産物等放射性物質検査の結果

平成24年6月19日現在

※基準値（放射性セシウム134、137）：一般食品100Bq/kg、生乳50Bq/kg

1 農産物等（8品目、9検体）

検査日	品目	採取地	検査結果
5月16日	原木しいたけ（施設栽培）	湯沢市	4.4 Bq/kg
5月21日	アスパラガス（露地栽培）	大仙市	不検出
5月23日	菌床エリンギ（施設栽培）	由利本荘市	不検出
5月30日	菌床なめこ（施設栽培）	横手市	不検出
6月 4日	きゅうり	美郷町	不検出
6月12日	原木しいたけ（施設栽培）	大館市	3.8 Bq/kg
6月12日	菌床しいたけ（施設栽培）	横手市	不検出
6月14日	キャベツ	能代市	不検出
6月14日	おうとう〔サクランボ〕	湯沢市	不検出

2 水産物（18品目、22検体）

検査日	品目	採取地	検査結果
4月10日	ワカサギ	潟上市四郎潟調整池	不検出
4月18日	ヤマメ（養殖）	秋田市	1.0 Bq/kg
4月18日	イワナ（養殖）	秋田市	不検出
4月24日	ヒレグロ□（カレイ類）	男鹿市船川港沖合	不検出
4月24日	ホッコクアカエビ	男鹿市船川港沖合	不検出
4月25日	ヤマメ	湯沢市皆瀬川支流大谷川	不検出
4月25日	ヤマメ	湯沢市役内川支流薄久内川	11 Bq/kg
5月23日	ショウサイフグ	潟上市因王沖合	不検出
5月23日	スズキ	潟上市因王沖合	0.8 Bq/kg
5月25日	ヒメマス	小坂町田和田湖	3.5 Bq/kg
5月25日	ワカサギ	小坂町田和田湖	不検出
5月28日	マダイ	男鹿市船川港沖	不検出
5月28日	ヒラメ	男鹿市 equal 浦沖	不検出
5月28日	ブリ	男鹿市船川港沖	不検出
5月31日	ウグイ	横手市雄物川	不検出
5月31日	ウグイ	仙北市檜木内川	4.7 Bq/kg
6月 1日	ヤマメ	東成瀬村成瀬川	不検出
6月 4日	クロソイ	男鹿市船川港沖	不検出

検査日	品目	採取地	検査結果
6月 7日	イワガキ	にかほ市鵜渕沖	不検出
6月 7日	マアジ	男鹿市虹浦沖	不検出
6月13日	マサバ	男鹿市船川港沖	不検出
6月14日	スルメイカ	男鹿市船川港沖	不検出

3 野生山菜（3品目、9検体）

検査日	品目	採取地	検査結果
5月15日	わらび（野生）	北秋田市	不検出
5月17日	わらび（野生）	大仙市	不検出
5月22日	わらび（野生）	湯沢市	不検出
5月28日	ねまがりたけ〇（野生）	湯沢市	12 Bq/kg
6月 6日	みず 〈ウバミソウ〉（野生）	北秋田市	不検出
6月 6日	ねまがりたけ〇（野生）	北秋田市	不検出
6月 7日	みず 〈ウバミソウ〉（野生）	仙北市	不検出
6月 7日	ねまがりたけ〇（野生）	仙北市	8.2 Bq/kg
6月11日	みず 〈ウバミソウ〉（野生）	湯沢市	不検出

4 生乳（11検体）

検査日	採取地	検査結果
平成24年4月10日～6月19日	県北・県南 クーラーステーション	不検出

3 あきたを元気に！農業夢プラン実現事業（拡充） 【農林漁業振興臨時対策基金事業】

水田総合利用課

東日本大震災の風評被害からの回復等により、農家の投資意欲が高まっていることから、戦略作物の生産拡大に必要な機械・施設の導入等のための助成枠を拡大する。

1 事業内容

- (1) ねぎ・アスパラガス周年出荷体制整備事業
- (2) リンドウ・ダリア全国トップブランド産地育成事業
- (3) あきたの園芸共同利用設備整備事業
- (4) 戦略作物生産拡大対策事業
- (5) 事業推進費

2 事業主体

- (1)、(2)：認定農業者、集落営農組織、農作業受託組織、認定就農者、J A等の生産部会、J A
- (3)：認定農業者（法人）、集落営農組織、J A等の生産部会、J A
- (4)：認定農業者、集落営農組織、農作業受託組織、認定就農者、機械共同利用組合（土地利用型作物は、認定農業者、集落営農組織、農作業受託組織に限る）
- (5)：県

3 予算額

70,000千円（繰入金：農林漁業振興臨時対策基金）
（負担金補助及び交付金 70,000千円）

4 事業年度

平成23～25年度

【参考】

（単位：千円）

区 分	当 初	補正額	補正後
(1) ねぎ・アスパラガス周年出荷体制整備事業	56,000	△ 491	55,509
(2) リンドウ・ダリア全国トップブランド産地育成事業	20,000	2,624	22,624
(3) あきたの園芸共同利用設備整備事業	91,000	△ 3,519	87,481
(4) 戦略作物生産拡大対策事業	297,500	71,386	368,886
(5) 事業推進費	500	0	500
計	465,000	70,000	535,000

4 地域をあげて取り組むGAP推進事業（新規）

【緊急雇用創出臨時対策基金事業】
（環境にやさしい安全安心農業体制確立事業）

水田総合利用課

GAP（生産工程管理）に関する取組の早期定着を図るため、制度の普及や農家への指導等を行う。

1 事業内容

(1) 実施内容

- ア GAPの普及・推進
- イ チェックリストへの記入の指導と問題点の把握
- ウ チェックリストの回収・入力
- エ 上記ア～ウを実施するための指導体制の構築（JAが実施）
- オ チェックリストの内容等についての検証（県が実施）

(2) 雇用人員

2名

(3) 雇用期間

平成24年8月～平成25年3月

2 事業主体

県（委託先：JA秋田しんせい）

3 予算額

4,786千円（繰入金：緊急雇用創出臨時対策基金）

内 訳	・ 人件費	4,181千円
	賃金	3,638千円
	通勤手当	104千円
	社会保険料等	439千円
	・ 物件費	605千円

4 事業年度

平成24～25年度

5 債務負担行為限度額

2,427千円（平成25年度分）

5 農業生産施設復旧支援事業（拡充）

水田総合利用課

平成24年4月3日～4日に発生した暴風による被害の拡大に伴い、農業生産施設の復旧支援対象額が増大したことから、助成枠を拡大する。

1 事業内容

(1) 実施内容

ア 対象者

暴風により被害を受けたことを市町村長等が認定した農業者（販売農家）等

イ 対象施設

パイプハウス（原則としてビニールのための破損は除く）、ガラスハウス、畜舎等

ウ 対象作物

水稲、野菜、花き、果樹、栽培きのこ類、葉たばこ、比内地鶏等

エ 補助率

1／3以内

(2) 増額内容

ア 事業対象被害額

当初：9.7億円 → 補正後：19.5億円

イ 事業規模

当初：約2,000棟 → 補正後：約2,900棟

ウ 助成枠

当初：3億円 → 補正後：4.76億円

2 事業主体

市町村等

3 予算額

176,000千円（一般財源）

（負担金補助及び交付金 176,000千円）

4 事業年度

平成24年度

6 秋田米食味向上対策事業（新規）

【農林漁業振興臨時対策基金事業】
（あきた米品種再編・販売力強化事業）

水田総合利用課

売れる米づくりを推進するため、食味に関する内部品質を科学的に分析し、日本穀物検定協会の食味ランキング「特A」の獲得につなげるとともに、食味向上のための栽培管理技術の確立を図る。

1 事業内容

(1) 食味向上栽培管理技術の検討

- ア 調査対象ほ場の生育・収量調査及び稲体分析
- イ 食味向上研修会等の開催

(2) 米の内部品質データ解析

- ア 分析機器の導入（アミロース分析器1台、アミノ酸分析器1台）
- イ 米の内部成分分析（タンパク質、アミロース、アミノ酸）
- ウ 主要品種の粒厚別の内部成分データと食味官能試験による解析

(3) 食味向上生育診断システムの確立（既定予算で対応）

2 事業主体

県

3 予算額

39,750千円（繰入金：農林漁業振興臨時対策基金 5,750千円）
（県 債：地域活性化事業債 34,000千円）

内 訳	賃金	1,101千円
	需用費	380千円
	備品購入費等	38,269千円

4 事業年度

平成24～26年度

7 秋田由利牛ブランドアップ支援事業（新規） 【緊急雇用創出臨時対策基金事業】

畜産振興課

秋田由利牛の産地である由利地域における販路拡大を図るため、生産・販売戦略の策定に向けた流通実態等の調査・分析を行うとともに、認知度を向上させるための情報発信を行う。

1 事業内容

(1) 実施内容

ア 地域の飲食店・精肉店を対象とした流通実態等の調査

イ 調査結果の分析と生産者へのフィードバック

ウ HPやブログの開設・運営による情報発信

(2) 雇用人員

1名

(3) 雇用期間

平成24年8月～平成25年3月

2 事業主体

県（委託先：秋田由利牛振興協議会）

3 予算額

2,424千円（繰入金：緊急雇用創出臨時対策基金）

内 訳	・人件費	1,681千円
	賃金	1,403千円
	通勤手当	53千円
	社会保険料等	225千円
	・物件費	743千円

4 事業年度

平成24～25年度

5 債務負担行為限度額

966千円（平成25年度分）

8 草地畜産基盤整備事業（拡充）

畜産振興課

畜産経営の効率化や規模拡大を推進するため、飼料生産基盤や施設の整備等について支援する。特に、県の基幹牧場である西神牧場については、草地の老朽化により収量が低下していることから、草地の整備を行うための調査設計等を実施する。

1 事業内容

- (1) 由利本荘地区（由利本荘市、大仙市、仙北市）（拡充）

県西神牧場 調査設計 22.6ha、草地整備 3.7ha 6月補正分

- (2) 北秋田2期地区（北秋田市、藤里町）
 (3) 雄平地区（横手市、羽後町、東成瀬村）
 (4) 事業計画策定事業
 (5) 事務費（拡充 県西神牧場分） 6月補正分

当初予算分

2 事業主体

- (1)、(2)、(3)：(社)秋田県農業公社
 (4)：県
 (5)：県、(社)秋田県農業公社

3 予算額

5,275千円（一般財源）
 （負担金補助及び交付金 5,275千円）

4 事業年度

- (1)：平成22～25年度
 (2)：平成24～27年度
 (3)：平成24～26年度

【参考】

（単位：千円）

区 分	当 初	補正額	補正後
(1) 由利本荘地区	34,446	4,811	39,257
(2) 北秋田2期地区	3,080	0	3,080
(3) 雄平地区	16,280	0	16,280
(4) 事業計画策定事業	8,000	0	8,000
(5) 事務費	6,072	464	6,536
計	67,878	5,275	73,153

9 漁港漁村活性化対策事業（新規）

水産漁港課

漁港や漁村において、津波等による災害の未然防止や被害の拡大防止、被災時の応急対策に必要となる避難路と避難階段等の整備を支援する。

1 事業内容

(1) 対象地区

にかほ地区（平沢、金浦、象潟、小砂川漁港）

(2) 対象施設

避難施設（避難路、避難階段） 9カ所

(3) 負担割合

国1／2、市1／2

2 事業主体

市町村（にかほ市）

3 予算額

31,000千円（国庫補助金30,500千円、一般財源500千円）

内 訳	負担金補助及び交付金	30,000千円
	需用費等	1,000千円

4 事業年度

平成24～26年度

【参考】対象施設及び年度別計画

		全体数量	H 2 4	H 2 5	H 2 6
施設名	避難施設	21カ所	9カ所	7カ所	5カ所
	防災情報伝達施設	6カ所		4カ所	2カ所
	異常気象監視施設	2カ所		1カ所	1カ所
	津波ハザードマップ	1式		1式	
事業費（千円）		300,000	60,000	140,000	100,000

10 漁港災害復旧事業（拡充） （公共災及び県単災）

水産漁港課

平成24年4月3日～4日に発生した暴風・波浪により被害を受けた漁港及び漁港海岸施設の復旧を図る。

1 事業内容

(1) 公共災

被災した県管理漁港等について、国の災害復旧制度を活用し復旧を図る。

・負担割合：国2／3、県1／3

(2) 県単災

被災した県管理漁港等のうち、(1)の対象とならないものについて、県単独で復旧を図る。

・負担割合：県10／10

(単位：千円)

事業名	当初	4月補正	6月補正	合計
漁港災害復旧事業(公共災)	100,000	—	854,000	954,000
県単漁港災害復旧事業(県単災)	4,000	33,600	47,300	84,900
合計	104,000	33,600	901,300	1,038,900

2 事業主体

県

3 予算額

(1) 公共災

854,000千円 (国庫補助金 549,600千円)

(県債 304,400千円)

内訳 (工事請負費 824,000千円
需用費等 30,000千円)

(2) 県単災

47,300千円 (県債 47,300千円)

(工事請負費 47,300千円)

4 事業年度

平成24年度

【参考】被害状況（防波堤、護岸、離岸堤などの倒壊破損等）

(単位：千円)

管内	箇所数	被害額合計	うち公共災	うち県単災
山本	29	449,000	428,000	21,000
秋田	8	91,000	87,000	4,000
由利	34	464,300	439,000	25,300
県計	71	1,004,300	954,000	50,300

1 1 木材産業振興臨時対策事業（拡充） 【森林整備及び木材産業振興臨時対策基金事業】

林業木材産業課

素材生産の低コスト化や県産材の需要拡大を図るため、高性能林業機械の導入や木材加工流通施設の整備等を促進する。

1 事業内容

- (1) 地域協議会運営事業
- (2) 森林境界の明確化事業
- (3) 高性能林業機械等導入事業 6月補正分
森林整備作業の省力化・低コスト化を図り、間伐材を安定的に供給するため高性能林業機械等の導入に対して助成する。
 - ・事業量 46台
 - ・補助率 1／2以内
- (4) 木材加工流通施設等整備事業 6月補正分
製材品の効率的な生産と品質・性能の向上を図るため、木材加工流通施設等の整備に助成する。
 - ・事業量 8施設
 - ・補助率 1／2以内
- (5) 流通経費支援事業 6月補正分
間伐材の利用拡大を促進するため、運搬経費に助成する。
 - ・補助率・事業量
 - 運搬距離 50km以上：1,000円／m³、14,200m³
 - 運搬距離 100km以上：2,000円／m³、4,700m³

2 事業主体

- (3)：林業事業体等
- (4)：木材加工企業等
- (5)：林業事業体等

3 予算額

787,735千円（繰入金：森林整備及び木材産業振興臨時対策基金 787,735千円）

- (3) 377,968千円
〔負担金補助及び交付金 377,968千円〕
- (4) 386,167千円
〔負担金補助及び交付金 386,167千円〕
- (5) 23,600千円
〔負担金補助及び交付金 23,600千円〕

4 事業年度

平成21～26年度

1 2 種苗生産施設体制整備事業（新規）

林業木材産業課

東日本大震災により被災した海岸林等の森林を復旧するため、被災地等に供給する苗木の生産に必要な機械施設の導入に対し助成する。

1 事業内容

- (1) 対象機種：播種機
- (2) 導入台数：2 台（針葉樹用 1 台、広葉樹用 1 台）
- (3) 補助率：1／2 以内

2 事業主体

秋田県山林種苗協同組合

3 予算額

7 5 0 千円（国庫補助金）
（負担金補助及び交付金 7 5 0 千円）

4 事業年度

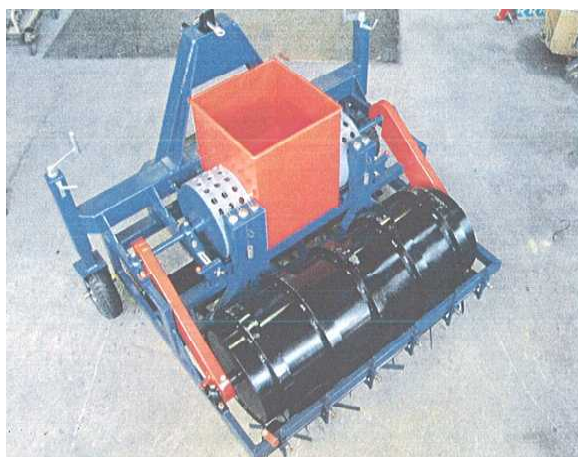
平成 2 4 年度

導入予定播種機

【針葉樹用播種機】



【広葉樹用播種機】



1 3 森林整備臨時対策事業（拡充） 【森林整備及び木材産業振興臨時対策基金事業】

森林整備課

搬出間伐の実施や路網の整備を積極的に推進することにより、森林整備と基盤整備等の加速化を図る。

1 事業内容

- (1) 間伐事業
 - (2) 路網整備事業
 - (3) 森林・林業人材育成加速化事業
- } 当初予算分
6 月補正分

県産材の安定供給を図るため、専門的かつ高度な知識を持ち、間伐や路網整備を効率的に行える林業技術者等を育成する。

ア 「森林施業プランナー」の育成（20人）

森林施業の集約化や、森林経営計画の作成及び実行を担う人材を育成する。

イ 「森林作業道作設オペレーター」の育成（30人）

丈夫で簡易な作業道を作設する技能者を育成する。

ウ 「素材生産技能者等」の育成（50人）

素材生産に必要な専門的な知識及び技術を有し、搬出間伐等を効率的に行える現場技能者等を育成する。

- ・フォレストマネージャー（統括現場管理責任者 5人）
- ・フォレストリーダー（現場管理責任者 5人）
- ・フォレストワーカー（林業作業士 40人）

2 事業主体

県（ア及びウの委託先：秋田県森林組合連合会）

3 予算額

57,110千円

（繰入金：森林整備及び木材産業振興臨時対策基金 56,890千円）

（一般財源： 220千円）

ア 7,210千円

（委託料 7,210千円）

イ 2,840千円

（旅費、需用費、使用料及び賃借料等 2,840千円）

ウ 47,060千円

（委託料 47,060千円）

4 事業年度

平成21～26年度

「森林・林業人材育成加速化事業（拡充）」に係る“素材生産技能者等”の育成

間伐や道づくりを効率的に行える
素材生産技能者等の育成

育成する人材の体系

◎保育作業主体の技能者から、素材生産が行える技能者へ育成

① フォレストマネージャーの育成

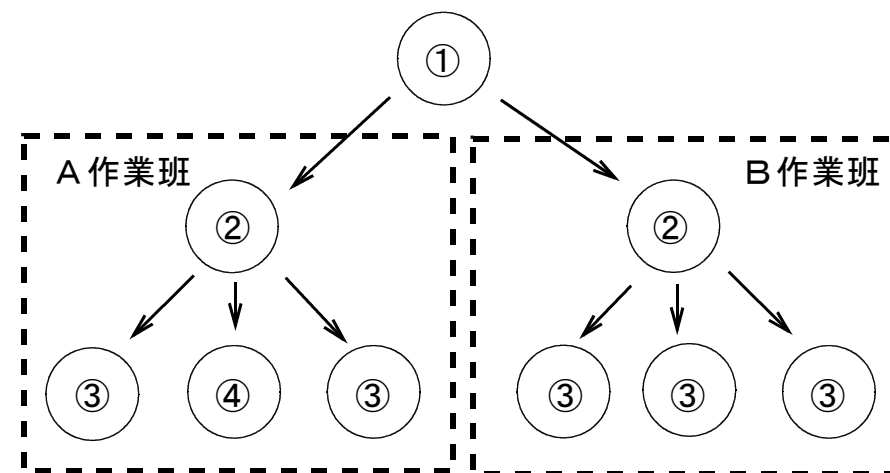
- ・ 育成人数：5人（現場作業従事期間10年以上）
- ・ 安全衛生推進者養成講習等の受講

② フォレストリーダーの育成

- ・ 育成人数：5人（現場作業従事期間5年以上）
- ・ 現場作業指揮者教育、はい作業主任者講習等の受講

③ フォレストワーカーの育成

- ・ 育成人数：40人（造林作業等2年以上従事）
- ・ 素材生産に必要な安全教育、技能講習等の受講



- ①：フォレストマネージャー（統括現場管理責任者）
複数の現場の統括管理者
- ②：フォレストリーダー（現場管理責任者）
各現場を担当する作業班長
- ③：フォレストワーカー（林業作業士）
伐倒、玉切り等を行う作業技能者
- ④：森林作業道作設オペレーター
丈夫で簡易な作業道を作設する作業技能者